

# 屋外設置形 (B L 認定品) 暖房専用熱源機 取扱説明書

保証書付

型番 135-T920 型

型式名 GD-1202W

B L 品番 XS1208ARSW

このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

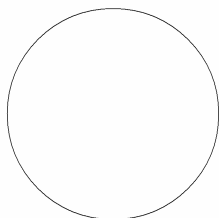
内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧ください。型番・製造年月をお知らせください。

暖房端末機器についての使用上の注意は、暖房端末機器の取扱説明書にあります。ご利用の際は、暖房端末機器の取扱説明書もよくお読みください。



## もくじ

ページ

安全に正しくお使いいただくために……………	1
この取扱説明書の表示について……………	1
絵表示について……………	1
機器本体の表示について……………	1
必ずお守りください……………	1
各部の名称とはたらき……………	6
ご利用前の準備……………	7
機器の準備……………	7
現在時刻を合わせる……………	7

お使いいただく前に

現在時刻を表示する……………	8
時刻を表示するには……………	8
時刻表示を消すには……………	8
暖房運転をする……………	8
温水温度リモコンで暖房運転をする……………	8
暖房運転を予約する……………	9
タイマー時刻の設定……………	9
タイマー運転について……………	10
タイマー運転をする……………	10
タイマー時刻のリセット……………	11
暖房端末機器の運転……………	11
ファンコンベクターの場合……………	11

使い方

冬期の凍結予防をするには……………	12
凍結予防装置による方法……………	12
不凍液による方法……………	12
凍結したときは……………	12
機器の水を抜く方法……………	13
再使用する時……………	14
点検のポイント・お手入れのしかた……………	15
点検のポイント……………	15
お手入れのしかた……………	15
定期点検のおすすめ(有料)……………	15
不凍液の交換……………	15
暖房水の補給について……………	16
点検・お手入れ後の確認……………	16
故障かな?と思ったら……………	17
アラーム表示について……………	18
アフターサービスについて……………	19
仕様一覧……………	20
保証書……………	裏表紙

長くお使いいただくために

大阪ガス

# 安全に正しくお使いいただくために

## ■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

### ⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX)

参照ページを示しています。

## ■絵表示について



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続する

## ■機器本体の表示について

型番

型番を表示しています。

やけど注意

排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

銘板

型名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

不燃渡ラベル

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

# 必ずお守りください

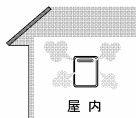
## ⚠ 危険

屋内に設置しない

●燃焼ガスが屋内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



禁止



屋内

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止

# 必ずお守りください

## ⚠ 警告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には、必ずお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

分解禁止

●お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

改造禁止

●絶対に改造は行わない。改造は事故や故障・火災の原因となります。

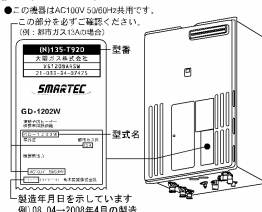
機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火やけけどし、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は（→P. 19）

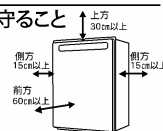


ガス種・電源を確認



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周囲には、紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周囲ではガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
  - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。温水温度リモコンおよび暖房端未機器の運転スイッチも切にしてください。
  - ②「故障かな?と思ったら」（→P. 17～P. 18）に従って処置をする。
 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



接触禁止



## 必ずお守りください

### ⚠ 注意

#### 電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。
- 電源プラグのほりこりなどは、定期的に取り。電源プラグにほりこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

### お願い

#### 停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 再通電したときは、別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンの設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

#### 雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く



#### 雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

#### 使用する暖房水についての注意

- 暖房水に地下水や温泉水、井戸水を使用しないでください。機器が破損する原因になります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、たこ足配線などで定格を超える発熱による火災の原因となります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続する

#### 用途についての注意

- 暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

#### 配管カバー（または据置台）についての注意

- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 16）

#### 水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

#### 乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

#### 電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

#### 別売のリモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因となります。
- リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。



分解禁止

#### 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 15）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

## 必ずお守りください

### お願い

#### 市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

#### この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使用方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

#### 長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」（→P. 13）に従って、水抜きを行ってください。



#### 凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは「冬期の凍結を予防するには」（→P. 12）に従って処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用するときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「ご使用前の準備」（→P. 7）の項以下の操作を行ってください。
- 凍結予防のために電気を使用していますので、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

#### ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを、機器の燃焼ランプで確認してください。

### お願い

#### 設置する場所や状況について

#### 設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塙などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

#### ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止

#### 給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

#### 排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



禁止

#### 塩害

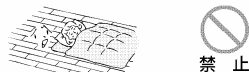
- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

## 必ずお守りください

### 警告 床暖房についての注意

#### やけどに注意

- 長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。  
(次のような方は特に注意)  
・お子様 ・深酒、疲労の激しい方  
・お年寄り ・皮膚の弱い方  
・眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
- 幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。低温やけどのおそれがあります。

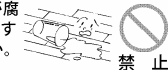


禁止

### 注意

#### 床についての注意

- 床面に水・薬品・しゅう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



禁止

- 床へは衝撃を加えない
- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

#### 床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形・変色することがあります。



禁止

#### 用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。  
特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など)には使わないでください。

締め切ったお部屋で目がしみる場合は、窓を開放するなど換気を十分行う

- 断定はできませんが、接着剤等に含まれるホルムアルデヒド臭が原因のひとつと考えられます。ホルムアルデヒドの発散が少ないフローリング材・補強材や接着剤を使用しているか、施工業者にご確認ください。

#### 火災予防

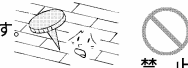
- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

#### 床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない。水漏れの原因になります。



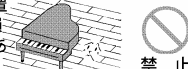
禁止

#### 家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと、家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

#### 重いものはそのまま置かない

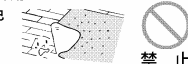
- ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

#### ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形・変色するおそれがあります。



禁止

#### カーペットの張替えについて

- 張替える場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープがグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはばようで固定するのは避けてください。また、交換を考へて、全面接着することは避けてください。



禁止

#### 床下防腐処理について

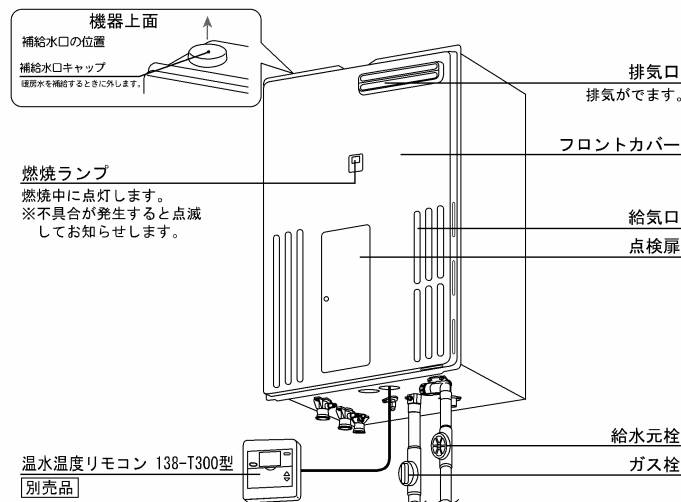
- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると、腐食することがありますので注意してください。

床暖房以外の暖房端末機器についての注意は、暖房端末機器の取扱説明書にあります。  
暖房端末機器の取扱説明書をよくお読みください。

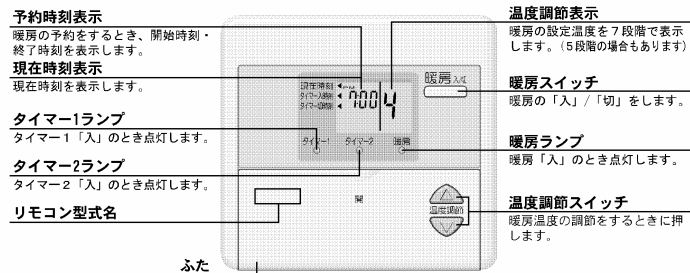
## 各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

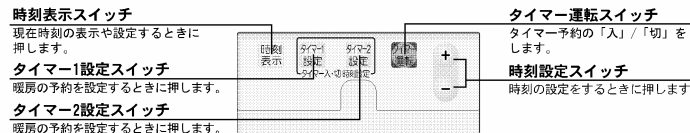
### 機器本体



### ■温水温度リモコン 138-T300 型 (別売品)



ふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

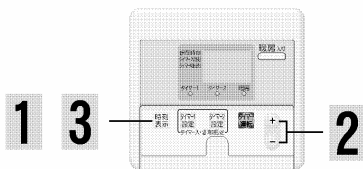


## ご使用前の準備

### ■機器の準備

- 1** 機器や機器周辺の点検・確認を行います(→P. 15)
- 2** 給水元栓を全開にします  
機器の下部にあります。
- 3** ガス栓を全開にします  
機器の下部にあります。
- 4** 電源プラグをコンセントに差し込みます  
機器周辺にあります。

(温水温度リモコン 138-T300 型 (別売品) がある場合)



### ■現在時刻を合わせる

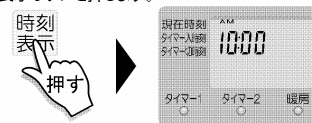
操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> 時刻表示を長押し(3秒以上)します	現在時刻 タイマー入切 タイマー切消 	時刻表示部の数字が点滅します。
<b>2</b> + または - で時刻を合わせます	現在時刻 タイマー入切 タイマー切消 	
<b>3</b> 時刻表示を押す、またはしばらくたつと確定します	現在時刻 タイマー入切 タイマー切消 9:15	時刻表示部の数字が点滅から点灯に変わり、現在時刻が確定されます。

- 暖房スイッチの「入」/「切」に関係なく、時刻設定ができます。  
●初回電源投入時および30分以上の停電や電源プラグを抜いたときの時刻表示は「-:-」になります。

## 現在時刻を表示する

### ■時刻を表示するには

リモコンの画面に時刻の表示がないときに時刻表示ボタンを押します。



### ■時刻表示を消すには

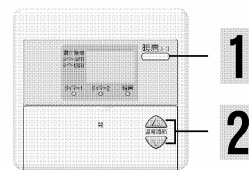
リモコンの画面に時刻の表示があるときに時刻表示ボタンを押します。



●暖房スイッチの「入」/「切」に関係なく、現在時刻を表示できます。

## 暖房運転をする

温水温度リモコンがない場合は、暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください。



ご使用の目安

暖房調節表示	1	2	3	4	5	6	7
暖房水の温度(約℃)	45	50	55	60	70	75	80

□ : 工場出荷時

※暖房端末機器の種類により、1~5 の5段階場合があります。  
※低温用の床材(フローリングなど)で、5~1 に設定されると、低温やけどのおそれがあります。

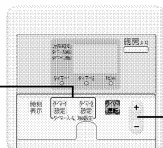
### ■温水温度リモコン(138-T300型)で暖房運転をする

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> 暖房入切を「入」にします	現在時刻 タイマー入切 タイマー切消 4 タイマー1 タイマー2 暖房	暖房ランプが点灯します。
<b>2</b> または  を押して温度を調節します	現在時刻 タイマー入切 タイマー切消 5 タイマー1 タイマー2 暖房	1~7の7段階で温度の調節ができます。

- 補給水タンク内の暖房水が一定量以下になると暖房運転が停止します。このとき機器本体の燃焼ランプが点滅し、温水温度リモコン(138-T300型)に「S43」のアラームを表示します。(→P. 18)  
給水元栓が全開になっていることを確認してください。  
●使い始めや温度調節の変更を行ったときは、設定温度になるまでに時間がかかります。  
●温水温度リモコンを利用して暖房端末機器(浴室暖房乾燥機・床暖房等)を運転中に、暖房端末機器が暖まりにくい・熱すぎる等、温度調節が上手く働かない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

## 暖房運転を予約する

1 3 5



2 4

### ■タイマー時刻の設定

タイマー時刻はタイマー1・タイマー2をそれぞれ別に設定できます。  
操作の説明は暖房「切」の状態の説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 タイマー設定を押します		タイマー入時刻の右側に◀が表示され、時刻表示とタイマー番号1とタイマー1ランプが点滅します。 ※タイマー1の時刻をタイマー2の時刻に変えて操作をするとタイマー2の設定ができます。
2 + または - を押して「入」時刻を合わせます リモコンの図は午前6時に設定した場合を示します		
3 タイマー設定を押します		タイマー切時刻の右側に▶が表示されます。
4 + または - を押して「切」時刻を合わせます リモコンの図は午前9時に設定した場合を示します		
5 タイマー設定を押す、またはしばらくたつと確定します		タイマー1ランプが点滅から点灯に変わり、画面表示が消えます。(時刻表示が0Nの場合には、現在時刻を表示します)

- タイマー設定は一度設定しておく、設定時刻を記憶します。  
●タイマー1および2は同じ操作で設定ができます。(タイマー番号表示に1または2が表示されます)  
●設定中に10秒以上何も操作しないでいると、画面に表示された時刻で確定します。  
●暖房スイッチの「入」/「切」に関係なく、タイマー時刻の設定ができます。

## 暖房運転を予約する

### ■タイマー運転について

タイマー運転はセットした時刻になると自動的に暖房の「入」/「切」を行います。  
毎日同じ時刻に暖房運転をしたい場合は、タイマー1・2ランプが点灯した状態にしておけば、暖房スイッチを何度も押す必要がありません。

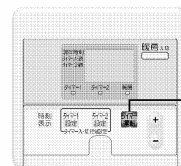
タイマー時刻は、1日2回まで設定できます。

(例)	AM5:00～AM10:00	(タイマー1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</
-----	----------------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※タイマー運転中に暖房スイッチを押すと、暖房運転が停止します。  
ただし、次のタイマー入時刻になると暖房運転が開始します。

タイマー運転を行うときは、  
以下のことを確認してください。

- 暖房の温度を確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.7)



1

### ■タイマー運転をする

操 作	説 明
1 1を押します	タイマー1およびタイマー2ランプの点灯により、タイマー運転がされることを示します。
■タイマー1と2の時刻設定がされている場合	■タイマー1のみ時刻設定がされている場合
1 回押す タイマー1, 2 ランプが点灯	1 回押す タイマー1 ランプが点灯
2 回押す タイマー1 ランプが点灯	2 回押す タイマー1 ランプが点灯
3 回押す タイマー2 ランプが点灯	■タイマー2のみ時刻設定がされている場合
4 回押す	1 回押す タイマー2 ランプが点灯
	2 回押す

## 暖房運転を予約する

### ■タイマー時刻のリセット

設定したタイマー時刻はリセット（設定解除）することができます。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> タイマー設定を押します		タイマー入時刻の右側に◀を表示し、タイマー入時刻とタイマー番号・タイマーランプが点滅します。 ※タイマー設定を固定に設定して操作をするとタイマー2のリセットができます。
<b>2</b> + と - を同時に押します		時刻表示が“-:--”に変わります。
<b>3</b> タイマー設定を押す、またはしばらくたつと確定します		画面表示が消えます。（時刻表示が0 N の場合には、現在時刻を表示します）

## 暖房端末機器の運転

### ■ファンコンベクターの場合（詳しくはファンコンベクターの取扱説明書をご覧ください）

操 作	説 明
<b>運 転</b> 暖房端末機器の運転スイッチを「入」にします 	しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。
<b>停 止</b> 暖房端末機器の運転スイッチを「切」にします 	ファンコンベクターの暖房運転が停止します。

- お願い**
- その他の暖房端末機器（浴室暖房乾燥機・床暖房など）を使用する場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  - 床暖房を使用して、床暖房リモコンを取付けている場合は、付属の取扱説明書をご覧ください。

## 冬期の凍結を予防するには



- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

### ■凍結予防装置による方法

機器の電源プラグは、抜かないでください

ガス栓は開けておいてください

- 気温が下がってくると自動的に暖房運転（燃焼）し、暖房回路を温めて凍結を予防する凍結予防装置がついています。機器および暖房端末機器の電源プラグを抜いたり、分電盤のブレーカーを切らないでください。（暖房端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります）



- お願い**
- 方法は各暖房端末機器によって異なります。再使用のしかたも含め、暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください。
  - 電源プラグがコンセントから抜かれていると、作動しませんのでご注意ください。
  - この方法では、機器内の凍結は予防できても給水配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

### ■不凍液による方法


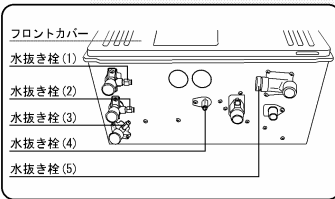

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので、毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに点検を依頼してください。（有料）
- 不凍液の性能が低下している場合は交換（有料）が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

### ■凍結したときは

- 凍結したときはガス栓を閉じ、使用しないでください。凍結したまま使用すると、機器や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

## 冬期の凍結を予防するには

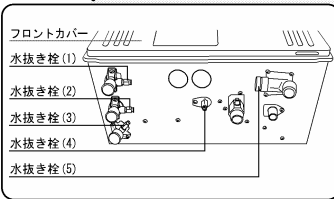
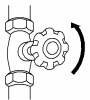
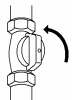

- 機器の水を抜く方法 入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

操 作	説 明
<b>1</b> ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>2</b> 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>3</b> 水抜きを行う前に不凍液注入の確認をします  【不凍液が入っている場合】 水抜き栓 (5) のみを外します  【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓 (1) (2) (3) (4) を外します 30秒程したら水抜き栓 (5) を外します 	※不凍液注入の場合は、機器フロントカバーに『不凍液が入っています』のラベルが貼付されています。
<b>4</b> 電源プラグを抜きます 	機器の周辺にあります。
<b>5</b> 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けます	排水後は次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- △注意 ● 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。  
 機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。  
 ● 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 16）

## 冬期の凍結を予防するには

- 再使用するとき

操 作	説 明
<b>1</b> すべての水抜き栓 (1) ~ (5) が閉じていることを確認します 	
<b>2</b> 給水元栓 (2) を開けます 	機器の下部にあります。
<b>3</b> ガス栓 (1) を開けます 	機器の下部にあります。
<b>4</b> 電源プラグをコンセントに差し込みます 	コンセントは機器の周辺にあります。

- △注意 ● 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 16）  
 お願い ● 機器内の水抜きを行った場合は、再び使用するときには水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。  
 ● 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。  
 ● 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や暖房端末機器内の水も出できます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。



## 点検のポイント・お手入れのしかた

安全に長くお使いいただくために点検とお手入れは定期的に行いましょう。

### ■点検のポイント

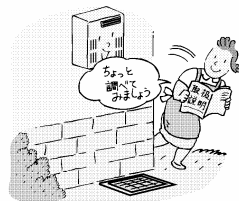
次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？  
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？整然とされていますか？

機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がまわたりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

- 6 積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれていませんか？

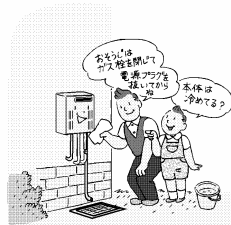
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口の点検・除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を閉塞するおそれがあるときには、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



### ■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。



### ■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。点検は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

### ■不凍液の交換

- 不凍液を使用している場合、不凍液は経年劣化しますので、毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または大阪ガスに点検を依頼して、2年に1回交換してください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、別売のリモコンを分解したりしない。



分解禁止

### ●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我等のないよう、指先には十分注意してください。
- リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。

●洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。

お願い

15

## 点検のポイント・お手入れのしかた

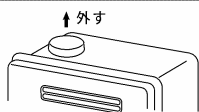
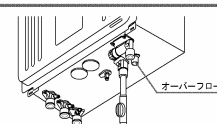
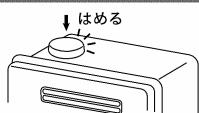
### ■暖房水の補給について

暖房水の補給が必要になると、燃焼ランプの点滅やアラーム番号“543”の表示でお知らせします。不凍液を使用していない場合は、以下の手順で水を補給します。

#### 給水配管がある場合

暖房水は自動的に補給されます。給水元栓は開けておいてください。

#### 給水配管がない場合

操 作		説 明
1	補給水口キャップを外します	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転直後等、暖房水が高温になっているときは、温風が吹出してやけどをするおそれがあります。冷えてから外してください。</li> </ul>
2	補給水口から水を入れます オーバーフローから水が出てくるまで入れます	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補給水口からやかん等で、必ず水道水を補給します。（地下水等を使用しないでください）</li> </ul>
3	補給水口キャップをはめます	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補給水口キャップをしっかりはめます。</li> </ul>

- お願い ●やかん等で暖房水の補給を行うとき、やかんの中にゴミや異物が入っていないことを確認してください。機器の中にゴミや異物が入ると機器損傷の原因になります。
- 配管からの水漏れなどにより、暖房水が一定以下になると、安全装置がはたらき、暖房運転を停止します。万一、機器や暖房端末機器から水が漏れたときは、暖房水の補給をせず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
  - 暖房水の補給の目安は、4～5月に1回程度ですが、暖房使用時間により異なるため、月1回の補給をおすすめします。

### ■点検・お手入れ後の確認

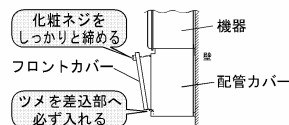
点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

#### （配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて）

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後は、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み外れないことを確認。
- ②化粧ネジをしっかりと締める。



## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

### こんなとき

寒い日に排気口から白い湯気がでる	外気温が低いときには、排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いときポンプが自動的に回る	凍結予防のため、ポンプが自動的に回っています。
冬期など、暖房を使っていないのに機器が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、外気温が一定温度以下に下がると機器が自動的に燃焼します。異常ではありません。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの面着を防止するための機能ですので、異常ではありません。

### 故障ではありません

床面の温度がなかなか暖まらない	床面の暖まり具合は、仕上材の種類・床下断熱材や外気温などによって変化します。暖房感が得られるようになるには木質のフローリング・カーベットの乾燥約30分～1時間で、畳・タイル・天然石などの場合、約1時間～2時間の予熱時間が必要です。別売の床暖房リモコンや温水温度リモコン(138-T300型)を取付けている場合ではあらかじめタイマー運転を設定してご使用ください。(設定方法はそれぞれの機器およびリモコンの取扱説明書をご覧ください)
床暖房を使用していないのに床が暖まることもある	床暖房は回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
床面の暖かさが場所によって少し違う	床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れている所とそうでない所では床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
床面の足触りが場所によって少し違う	カーベットや防音フローリングなど、柔らかい仕上材では床暖房の固定部分や温水接続部などのため、床面の足触りがかたく感じられることがあります。異常ではありません。
床暖房使用中に音がする	床暖房を使用しますと、ごくまれに床面に音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって床暖房部材および仕上材など床の構造体が膨張・収縮し、その際に発生するものであり異常ではありません。
クッションフロアが部分的に変色している	床仕上材がクッションフロアシートの場合、長期間ご使用になりますと床表面にちりなどが付着して、変色したように見えることがありますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは目立たなくなります。

### こんなとき

暖房がきかない(ききが悪い)	◎ガス栓が全開になっていますか? (→P.7) ◎別売の温水温度リモコン(138-T300型)がある場合 暖房スイッチが「入」になっていますか? 設定温度は適切ですか? ◎暖房端末機器の設定温度は適切ですか? (各暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください)
機器の燃焼ランプが点灯しない(運転しない)	◎電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか? (→P.7) ◎停電していませんか? (→P.3) ◎ガス栓が全開になっていますか? (→P.7) ◎凍結していませんか? (→P.14) ガス栓が全開であることを確認後、暖房端末機器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプが点滅(運転しない)	◎暖房水が少なくなっていますか? (給水配管をしていない場合) 水を補給してください。 (→P.16)
運転中に機器から異常音がきこえる	点検を依頼してください。

それでもわからないときはアフターサービスを申しつけてください

## 故障かな?と思ったら

### ■アラーム表示について

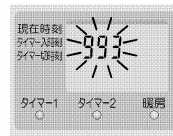
この機器は不具合が生じると、機器本体の燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。機器本体の燃焼ランプが点滅しているときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

(温水温度リモコン(138-T300型)を取り付けている場合)

別売の温水温度リモコン(138-T300型)には故障診断機能が付いています。熱源機が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転を停止します。

下記に応じた処置を行ってください。

処置をしてもアラーム番号の表示が消えない場合は、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



アラーム番号	内 容	処 置 ・ 方 法
033	温 水 温 度 切 替 異 常	修理を依頼する
035	多 系 統 選 択 異 常	
103	自 己 診 断 燃 焼 異 常 警 告	ガス栓確認後リセット操作
113	点 火 不 良	
123	失 火	修理を依頼する
143	空 だ き 安 全 装 置 作 動	
173	暖 房 回 路 漏 水 異 常 (少 量)	
313	暖 房 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡	
323	凍 結 予 防 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡	
333	低 温 往 サ ー ミ ス タ 断 線 ・ 短 絡	
393	異 常 燃 焼 検 出 器 異 常	
433	暖 房 タ ン ク 水 位 検 出 異 常	
513	元 ガ ス 電 磁 弁 異 常	
543	ガ ス 電 磁 弁 異 常	
543	暖 房 回 路 漏 水 異 常 (多 量)	
613	燃 焼 フ ァ ン 回 転 異 常	
623	暖 房 ポ ン プ 異 常	修理を依頼する
703	電 装 基 板 異 常	
703	ガ ス 比 例 弁 駆 動 回 路 異 常	
723	擬 似 炎 検 出	
740	リ モ コ ン 基 板 故 障	
743	リ モ コ ン 通 信 異 常	
763	端 末 通 信 異 常	
903	給 気 汚 染 異 常	
993	自 己 診 断 燃 焼 異 常	

(リセット操作) 暖房スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから再び「入」にする。



●アラーム番号「543」が表示されたときは、暖房水を補給する(→P.16) ことにより、アラームが解除される場合があります。

## アフターサービスについて

### サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 17～18)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様で自身で修理なさらないで買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
  - (2) 型番: 135-T920型  
ガスの種類: (例) 13A  
※銘板をご覧ください(→P. 1)
  - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
  - (4) 訪問ご希望日

### 保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容等をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

### 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整が必要です。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

### アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

### 長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1) ガス栓を閉じます。
  - (2) 機器の水抜きを行います。(→P. 13)
  - (3) 電源プラグを抜きます。

## 仕様一覧

### ■仕様表

項目	内容
型番	135-T920型
型式名	GD-1202W
外形寸法(mm)	高さ600×幅470×奥行225
質量(kg)	22
種類	温水循環方式 屋外強制排気方式
設置方法	屋外壁掛設置形
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水压	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )
最低動作水量	0ℓ/分以上(締切り使用可)
ポンプ機外揚程	70kPa(10ℓ/分)側 65kPa(10ℓ/分)側
温度制御方式	比例制御およびON・OFF制御方式
ファン制御方式	回転数制御
接続	ガス
	給水
	暖房高温往
	暖房戻り
	暖房低温往
オーバーフロー	
電気関係	電源
	AC100V(50/60Hz)
モーター	DC24V以下
	3.0W(温水温度リモコン取付け時)
消費電力	115W(最大値)
	135W(最大値)
安全装置	立消え安全装置(フレームロッド)
	過熱防止装置(温度ヒューズ)
	漏電安全装置(漏電リレー)
	凍結予防ヒータ、ポンプ運転(凍結予防装置)
	過圧防止安全装置(スプリング式)
	沸騰防止装置(暖房サーミスタ)
付属品	空だき安全装置(パイメタル式)
	ファン回転検出装置(燃焼ファン)
	空だき防止装置(水位電極)
	誘導電流保護装置(サージアブソーバ)
	過電流防止装置(電流ヒューズ)
	取扱説明書(保証書付)、設置工事説明書、中継りード線(一式)、取付ネジ(一式)

### ■能力表

使用ガス・使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}	暖房能力 kW {kcal/h}
都市ガス	13A	13.8 {11,900}
LPGガス	13.8 {0.99kg/h}	11.6 {10,000}

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。  
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。